

試験研究(事後)評価整理表

試験研究機関名 環境創造センター

所 管 課 環境共生課

No.	施策目標等		試験・研究課題名	試験研究始期・終期		予算額		具体的評価項目				総合評価		部局コメント	外部アドバイザーコメント
	施策目標	研究課題分類		始期	終期	当初予算(計画)額(千円)	当初研究計画との相違	研究目的の達成度	研究成果の活用	研究実施時の問題点等	1次評価	2次評価			
1	環境回復	研究開発事業 (除染・廃棄物)	除去土壌等の保管等に係る適正管理手法の確立	H27	R3	-	A	B	B	-	B	B	除去土壌等保存容器等の耐久性評価により安全性の確保に資する成果が得られたほか、農地等の原状回復の実証試験による生育状況や土壌侵食抑制効果の確認、仮置場跡地の被ばく線量評価による安全性の確認が出来たこと、本研究により得られた知見は、市町村で活用できるように提供されていることから、研究成果は目的を概ね達成している。	仮置場での保管が一部長期化しており、さまざまな管理工程で生じる課題に対して、各方面から県としての支援が強く求められている。本研究はその要求に応じていくための取組みのひとつであり、その意義は大きい。研究の進捗は、県のHPや関連の学会、論文等を通じて公表するのみならず、各種の県民との対面の機会を活用し、積極的アウトリーチして、より多くのステークホルダーからの理解を得ると良い。	

試験研究(事後)評価整理表

試験研究機関名 水産資源研究所
所 管 課 水産課

No.	施策目標等		試験・研究課題名	試験研究始期・終期		予算額 当初予算(計画)額(千円)	具体的評価項目				総合評価		部局コメント	外部アドバイザーコメント
	施策目標	研究課題分類		始期	終期		当初研究計画との相違	研究目的の達成度	研究成果の活用	研究実施時の問題点等	1次評価	2次評価		
1	安全・安心な県産農林水産物の安定供給と生産者の所得向上	農林水産物の安定供給技術の確立	栽培漁業対象種の放流技術に関する研究(有用魚種の大量放流技術の開発)	H29	R3	2,549	A	B	B	—	B	B	ホシガレイ等の有用魚種について、仔魚期種苗を生産して放流する技術を確立した。また、仔魚耳石のALC染色技術開発により、放流効果評価手法を確立した。	ホシガレイ、イシガレイ、マコガレイ等の仔魚耳石にALC標識を施し、放流する技術を開発しており、計画通りの達成である。自己評価「B」は妥当である。仔魚放流と稚魚放流のコスト比較は、今後の追跡調査結果を待たなくてはならない。放流仔魚の生残率が非常に低く、混入率も低いことが予想される。このため、多くの標本の耳石を確認する必要があるが、追跡調査の着実な実施を期待する。
2	安全・安心な県産農林水産物の安定供給と生産者の所得向上	農林水産物の安定供給技術の確立	有用魚種の養殖技術に関する研究(ホシガレイ養殖研究)	H29	R3	8,258	B	B	B	—	B	B	閉鎖循環飼育によるホシガレイの飼育ならびに種苗の安定生産が可能となったことで、ホシガレイの養殖事業展開に必要な技術を確立することができた。	施設建設の遅れと地震発生により、比較試験の実施が限定的であった点は残念であったが、閉鎖循環飼育による仔稚魚の生産、および親魚養成技術開発に至っており、当初の目的は達成したと評価できる。事後評価「B」は妥当である。データの記録、解析、評価を丁寧に行い、成果が蓄積し、技術が発展することを期待する。付属資料(研究概要書)は一部不明瞭な部分があったが、課題報告書等では丁寧に記述をして、成果が引き継がれるよう、ご留意願いたい。